

### 31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： \_\_\_\_\_

病院施設番号： 030044                      臨床研修病院の名称： 岩手県立胆沢病院

臨床研修病院群番号： 0300447                      臨床研修病院群名： 岩手県立胆沢病院臨床研修病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称		岩手県立胆沢病院卒後研修プログラム			
2. 研修プログラムの特色		<p>必修期間は必要最低限の期間に設定し、4月オリエンテーション時に自らの研修も目標を考え、条件のもと、どのような診療科をどれくらいの期間ローテーションし、何ができるようになるべきかを考えていただきます。</p> <p>また、当院では1ヶ月ごとに多数の診療科をローテートするような研修はおすすめていません。</p> <p>1ヶ月程度の研修では、慣れてきてなんとなく分かったつもりになって終わってしまいます。2ヶ月目にはようやく仕事と言えるものができるようになり、3ヶ月目になると、上級医、スタッフから信頼される仕事ができるようになります。</p> <p>よって、なるべく長めにローテーションすることで、責任ある仕事を体験してほしいと考えています。</p>			
3. 臨床研修の目標の概要		医師として、医学・医療の社会的ニーズを確認しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、幅広い基本的な臨床能力（態度・技能・知識）を身につける。			
4. 研修期間		（ 2 ）年 （原則として、「2年」と記入してください。）			
備考		研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。2年の研修修了後、引き続き専門研修として3年以上の研修も可能。また、希望者は相談の上、3年目のローテート研修が可能である。			
5. 臨床研修を行う分野		<p>研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。</li> <li>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</li> <li>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</li> </ul>			
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目・分野	内科	030044	岩手県立胆沢病院	24週	
		030780	岩手県立磐井病院		
	救急部門	030044	岩手県立胆沢病院	4週	
	地域医療	031178	岩手県立江刺病院	4週	
		034262	奥州市国民健康保険まごころ病院		
		034263	奥州市国民健康保険衣川診療所		
		031185	岩手県立遠野病院		
		137340	盛岡つなぎ温泉病院		
	178568	金ヶ崎町国民健康保険金ヶ崎診療所		一般外来 0.1週～	
外科	030044	岩手県立胆沢病院	8週	週	

	小児科	030044	岩手県立胆沢病院	4週	0.1週～
		030041	岩手医科大学附属病院		
		030042	岩手県立中央病院		
		030780	岩手県立磐井病院		
		031193	北上済生会病院		
		080001	岩手県立中部病院		
		030782	岩手県立大船渡病院		
	産婦人科	030044	岩手県立胆沢病院	4週	
		030041	岩手医科大学附属病院		
		030042	岩手県立中央病院		
		030043	盛岡赤十字病院		
		030780	岩手県立磐井病院		
		031193	北上済生会病院		
		080001	岩手県立中部病院		
	精神科	030041	岩手医科大学附属病院	4週	
030045		岩手県立南光病院			
030782		岩手県立大船渡病院			
060021		医療法人社団創生会おとめがわ病院			
一般外来			週		
病院で 定めた 必修 科目	麻醉科	030044	岩手県立胆沢病院	4週	総合診療科 4週
	病理科	030041	岩手医科大学附属病院	1週	
	総合診療科	030044	岩手県立胆沢病院	4週	
選択 科目	自由選択	030044	岩手県立胆沢病院	43週	週
		030041	岩手医科大学附属病院		
		030042	岩手県立中央病院		
		030043	盛岡赤十字病院		
		030045	岩手県立南光病院		
		030780	岩手県立磐井病院		
		030781	岩手県立千厩病院		
		030782	岩手県立大船渡病院		
		030784	岩手県立宮古病院		
		030785	岩手県立久慈病院		
		030786	岩手県立二戸病院		
		030783	岩手県立釜石病院		
		031193	北上済生会病院		
080001	岩手県立中部病院				

	031178	岩手県立江刺病院
	032479	独立行政法人国立病院機構 岩手病院
	060021	医療法人社団創生会おとめ がわ病院
	034040	岩手県赤十字血液センター
	034262	奥州市国民健康保険まごこ ろ病院
	034263	奥州市国民健康保険衣川診 療所
	031185	岩手県立遠野病院
	137340	盛岡つなぎ温泉病院
	178568	金ヶ崎町国民健康保険金ヶ 崎診療所
	031169	盛岡市立病院
	200001	岩手医科大学附属病院内丸 メディカルセンター

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低〇週 ※原則として、52週以上行うことが望ましい。  
臨床研修協力施設での研修期間・・・最大〇週 ※原則として、12週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。  
研修プログラムに規定された4週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の  
研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約40回  
救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4週※但し、4週を上限とする  
一般外来の研修を行う診療科・・・総合診療科、小児科、地域医療  
※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

2年間を通じて、内科24週、外科・麻酔科各8週、小児科・産婦人科・精神科・地域医療・  
総合診療科各4週、病理1週、残りの期間は自由選択とする。  
院外必修研修診療科は8週まで可。9週以上選択したい場合は選択診療科として研修する。  
(1)内科：呼吸器内科、消化器内科、循環器内科を最低各8週実施する。  
(2)外科：最低8週実施する。  
(3)麻酔科・救急部門：麻酔科を8週実施し、うち4週を救急部門として換算する。4週間の  
集中した研修と、2年間の研修期間中に実施する月4回程度の救急当直研修を8週分相当に  
換算するものとし、併せて12週とする。  
(4)産婦人科：4週実施する。  
(5)小児科：4週実施する。うち、一般外来を経験した場合には、一般外来の平行研修として  
カウントする。  
(6)地域医療：4週実施する。うち、一般外来を経験した場合には、一般外来の平行研修として  
カウントする。

- (7)精神科：4週実施する。
- (8)総合診療科：4週実施する。
- (9)一般外来：2年間の院内研修期間中に行う、総合診療科、地域医療、小児科研修中の外来診療を研修日数としてカウントする。
- (10)病理科：岩手医科大学附属病院において、1週間のCPC実習を実施する。なお、臨床病理検討会については、岩手県立胆沢病院で実施する。
- (11)自由選択：岩手県立胆沢病院及び協力型病院・協力施設の標榜する全診療科の研修を実施する。なお、選択必修・自由選択期間中のたすきがけ研修は、最大12週とする。
- (内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、外科、麻酔科、救急科、小児科、産婦人科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理科、精神科、リハビリテーション科、保健・医療行政他)
- (12)保健・医療行政研修は岩手県赤十字血液センターで実施し、2年間において2～3日間行う。
- (13)到達目標に未達成がある場合は、到達目標達成のために必要な診療科を割り当てることがある。











(031193)  
岩手県立中部病院  
(080001)  
独立行政法人国立病院  
機構岩手病院 (032479)  
医療法人社団創生会お  
とめがわ病院 (060021)  
岩手県立江刺病院  
(031178)  
岩手県赤十字血液  
センター (034040)  
奥州市国民健康保険ま  
ごころ病院 (034262)  
奥州市国民健康保険  
衣川診療所 (034263)  
岩手県立遠野病院  
(034263)  
盛岡つなぎ温泉病  
院 (137340)  
金ヶ崎町国民健康保険  
金ヶ崎診療所 (178568)  
盛岡市立病院  
(031169)  
岩手医科大学附属病院内丸  
メディカルセンター  
(0117791)

自由  
選択

- \* 1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。
- \* 2：「研修分野」欄には、「5．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。
- \* 3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。